



学校だより

2022.8.22 No.136

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

明石高専

<https://www.akashi.ac.jp>

たゆまぬ挑戦。
飛躍の高専！



2022
高専制度創設60周年



令和3年度卒業・修了式
(3月20日 西部市民会館にて)



令和4年度入学式
(4月3日 西部市民会館にて)



寮生球技大会
(6月13日～15日 本校体育館にて)



Hondaエコマイレッジチャレンジ2022第35回鈴鹿大会
グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス)2位
エコランプロジェクト
(6月11日 鈴鹿サーキットにて)

～ 目 次 ～

校長挨拶.....	2
新年度を迎えて.....	3
新任教員の挨拶.....	7
退職教員・異動教員より.....	8
編入学生紹介.....	9

留学生紹介.....	9
後援会より.....	11
学生会より.....	11
校内短信・行事予定他.....	12

校長挨拶

魚住雑考

校長 土居 信数（どい のぶかず）

（三智のことば）

前任地の長野にいたとき、“木曾路はすべて山のなかである”という有名な書き出しで始まる「夜明け前」の作者の（島崎）藤村記念館に行ったことがあります。そこで、「三智のことば」を知りました。

『三智のことば 人の世に三智がある。學んで得る智、人と交つて得る智、みづからの體驗によつて得る智がそれである。云々』

これを本校の教育に当てはめてみると、學んで得る智は、授業や実験や実習といった正規の教育課程により得る智になります。

人と交わることで得る智は、運動部や文化部、コンテスト等の課外（教育課程外）活動により得る智が相当します。そこでは、友人や先輩、後輩などと同じ目標や目的に向かって活動することで、協調性やリーダーシップ、コミュニケーション能力などを身につけます。

自らの體驗により得る智は、Co+work（コ・プラス・ワーク）が該当します。これは専門に関係なく、2～4年生の全学生を10名前後の班に分け、学生が主体的に地域社会の課題を発見し、その解決策を協働して形のある“もの”に仕上げるPBL(Project Based Learning)型の科目です。学生たちは、自ら考え、主体的に行動することで、将来イノベーションを起こすことのできる能力の基礎を養います。

教育の質保証の議論をするとき、教員の中にも學んで得る智を強調する人がいます。私はこうした考え方には否定的です。それは狭義の教育論の域にとどまっていると考えています。ソーシャルキャピタルという言葉があります。これは社会における人とひととの信頼関係や結びつきを表す概念で、バックグラウンドの異なる人たちと協力して何かをつくりあげる能力のことです。社会で活躍するには、この能力が必要になります。三智はまさにソーシャルキャピタルを身につけるためのもので、本校の教育はこの修得を目指しています。

（学びの「知好楽」）

論語に「知好楽」という言葉があります。

『これを知る者は、これを好む者に如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず』

本校の場合、学びの知好楽は「技術を知っていることは素晴らしい。でも、知っているだけの人よりも、それを好きでやっている人が勝っている。それよりも楽しんでやっている人がよい成果を出すことが多い」になります。

かつて、ある学生が「卒業後は〇〇関係の仕事にだけは就きたくない」といっているという話を耳にしたことがあります。頭をガーンとハンマーで殴られた気がしました。技術を学びはじめる段階で、学ぶことが嫌いになり、学び続けることが苦痛になったのだらうと思いました。学びの知嫌苦になってしまったわけです。本校の学生には、学びを通して、技術が好きになり、技術を学ぶことが楽しくなって欲しいと願っています。

先日、本校は “THE名門校 日本全国すごい学校名鑑” というテレビ番組で紹介されました。これは大変名誉なことですが、本校はそんな全国から優秀な学生が集まる名門校であるにも関わらず、毎年、進級することができず原級留置（留年）になってしまう学生が数パーセントいます。勉強することが知嫌苦になってしまったのかも知れません。名門校の影の部分です。入学を許可した学生は、教育の質保証をしたうえで全員を社会に送り出すことが、私たちには責務として課せられています。排除ではなく学生に寄り添った配慮の教育（排除から配慮へ）を徹底させることで、学びの知好楽を実現します。



新年度を迎えて

対面の国際交流活動に備える

副校長 江口 忠臣（えぐち ただおみ）

様々な分野で対面での活動が再開されてきました。難しかったのが海外の方々との対面交流でした。私たちの基礎となる国際交流に研究分野の国際会議があります。成果の発信にとどまらず、テクニカルツアーやレセプションなどで世界の研究者と交流することで刺激を受け、研究意欲の向上につながります。感染症対応が行われる以前は専攻科生と共に数多くの国際会議参加機会がありました。

学生の皆さんにおいては、自分の得意分野で国際交流活動再開に備えてほしいと思います。専攻分野、課外活動、趣味、特技、自身の得意な場面で国際交流の場があります。学校が紹介する国際交流活動に参加するのもいいでしょう。英語ができるようになって国際交流に臨むのもあり、得意分野の国際交流を経て英語によるコミュニケーション能力が身につくこともあるでしょう。備えましょう。



感染症対応以前に参加した国際会議とバレーボール国際大会のID

海外大学との交流

新しいチャレンジ

教務主事 森下 智博（もりした ともひろ）

今年度の1年生からBYOD (Bring Your Own Device) をお願いしています。2年生以上も多く多くの学生が自分専用のノートパソコンを持っていることと思います。さらに建設DXというプロジェクトも始まりました。都市システム工学科を中心に全学科で教育のデジタル化を進めていきます。実験や実習はもちろんですが、座学の授業においても各自のパソコンを利用する機会を増やしていくことになります。パソコンを活用することで、その利用技術や適応力を高めるだけでなく、教科内容の理解促進や創造性の育成を図ります。教科書だけではなく、インターネット上のさまざまな教育コンテンツを活用することが可能になります。学生のみなさんも自分の好みや学力に合うコンテンツを見つけて、Your Own Deviceをどんどん活用してください。



人にやさしい技術者に

学生主事 穂本 浩美（あきもと ひろみ）

明石高専ではグローバルとアクティブラーニングに力を入れています。アクティブラーニングと聞くと、グループワークやプレゼンテーション、プロジェクトを通してのリーダーシップや問題解決能力養成を思い浮かべるかもしれませんが。確かにその一面はありますが、グループワークなどはあくまで手法なので、大切なことは皆さんの頭の中がアクティブになればいいのです。立派なプレゼンも聞き手がいて初めて成立します。世の中の人全員がリーダーになっても組織は成り立ちません。世の人すべてが問題解決を果たせば、この世から問題がなくなってしまう誰も物を考えなくなってしまうのです。グローバルもアクティブラーニングも大いに結構で皆さんにはたくさんの経験をしてもらいたいと思います。でも高専生活で必ず手に入れたいただきたいのは、人の心に敏感になれる共感性です。他者を傷つける行為よりも困った人を助ける方法を見つけてもらいたいのです。皆さんほど力も知識もなく人の助けが必要な人が世の中にはたくさんいます。皆さんがご両親から授かった優秀な頭脳、皆さんが努力して手に入れた知識を新しい技術に変えて、人の役に立つ技術者になってもらいたいと願っています。

新年度を迎えて

日常を取り戻しつつある寮生活

寮務主事 平石 年弘（ひらいし としひろ）

2022年2月の新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染が広がった時には、学生寮でも感染者が出ました。幸い、寮生の回復は早く後遺症も無かったようで安堵しました。新学期を迎え、留学生を含む75名の新入寮生を迎え239名が在寮しています。昨年後期に国際寮がオープンし定員が56名増加し、定員オーバー問題は一安心かと思っただけですが、県外からの入学者の増加に伴い来年度にも定員が埋まる可能性が出てきました。現在、在寮している学生でも通学時間90分以内の学生に来年度は通学をお願いしています。引き続き、学生寮の増築を高専機構本部に依頼しつつも、今年の1年生には在寮期間は原則3年とし、4年生以降はアパートやシェアハウスに移っていただくようお願いいたしました。日本全国、海外から明石高専に行きたいと思っていただくためには寮の充実には欠かせないと思っています。今後とも、寮の充実に向けて努力いたしますので、ご協力のほどをお願いいたします。



専攻科で更なるスキルアップと成長マインドセットの育成を

専攻科長 中西 寛（なかにし ひろし）

リニューアルした専攻科科目「創発ゼミナール」では、異なる専門分野（機械・電気・電子・情報・建築・都市システム）の混成メンバーからなる班で、各自の専門知識・スキルを結集して製品・サービス提言のプロジェクトを行います。本科科目Co+workで培ってきたコンピテンシーを、各専門において実践的に昇華し発揮されることを期待しています。昨年度の各班の企画は、右記QRコードからご覧になれます。各班、頭では完璧に？設計されたシステムのはずが、実際のハードウェアを伴うプロトタイプ制作に悪戦苦闘し、異分野の相互理解・協力、短い工期・限られた予算・課題の制約条件をクリアして最終報告展示会を迎えました。展示会では、奇しくもトラブルで満足に動かない班もありましたが、その場で対処し企画コンセプトをアピールでき、最終的には達成感に満たされた笑顔を見ることができました。困難を越えての成功体験は、一つ一つは小さくても積み重ねが、今後の糧になります。専攻科では専門知識・実践的スキルに加え、このような成長マインドセットの育成機会も提供していきます。



情報メディアセンターより

情報メディアセンター長 井上 一成（いのうえ かずなり）

2022年、明石高専情報メディアセンターは、より高度な学びの場を提供する目的で大きな改築工事を控えています。広い演習室は、ノートパソコンのほかBYOD (Bring Your Own Device) にも対応する自由で快適な空間を提供します。

これまでも高度情報教育環境を目指し、様々な活動を実施して参りました。2020年のコロナ禍において、学生が自宅からリアルタイムで受講できる授業配信と、併せて授業終了後に振り返り学習が可能なオンデマンド配信を両立するオンラインシステムを構築しました。また2021年には、GIGAスクール構想でも取り上げられる電子黒板と、教員が授業に参加する全ての学生と同時にオンライン対話可能な集中システムを導入しました。

本年度後期は、改修工事のため情報センターと図書館を利用することができません。授業や時間割への影響を解消するために、都市システム工学科と電気情報工学科に仮の情報演習室を設け、コンピュータの移設も後期授業開始前に完了を予定しています。皆様方にはしばらくの間、ご不便をお掛けします事どうぞご了承ください。

来年度、新しく生まれ変わる情報メディアセンターにご期待ください。

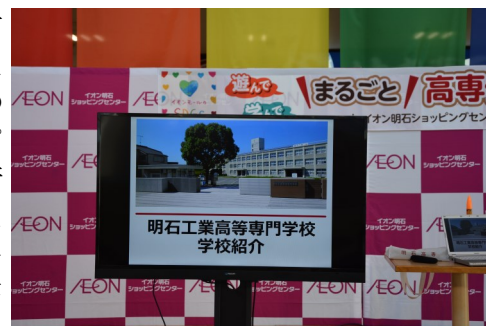
新年度を迎えて

地域に愛される高専をめざして

テクノセンター長 神田 佳一（かんだ けいいち）

昨年度に引き続き、6期目のテクノセンター長を拝命しました。市民や地元企業との連携を図り、地域の産業や技術の発展に寄与するための地域連携活動を担当します。昨年度は、小・中学生対象の27回の公開講座や7件の出前授業を行いました。特に、イオン明石ショッピングセンターでの「まるごと高専体験!」では、国立高専初の超小型衛星KOKEN-1の紹介や、「遊びながら学べる防災ボードゲームを体験しよう」、「紙で建築の模型をつくってみましょう」及び「レンガでアーチ橋を作ろう」の3つの講座を実施し、多くの市民の皆さんに明石高専の地域貢献活動を知っていただく絶好の機会となりました。一方、あかし市民図書館とコラボした「明石高専テクノカフェ」はコロナ禍の影響で1度しか開催できなかったのは残念です。

本年度もこれまでと同様に、市民との交流活動の場を拡充するとともに、地元企業との共同研究などの技術教育を通して、明石高専の持つ技術や教育力を広く社会に広め、地域に愛される明石高専を目指していきます。



まるごと高専体験!

できることから始めよう! Rome was not built in a day.

グローバルエデュケーションセンター長 藤原 誠之（ふじわら せいじ）

この2年間、コロナウィルス感染症拡大の影響で海外渡航が制限され、オンラインでの国際交流は完全に停止した状態でした。しかし、ワクチンの接種率も上がり、本年度になって渡航制限も緩和される動きが見られるようになってきました。あと少しの辛抱です。皆さん一緒に希望を持って頑張りましょう!ところで、コロナ禍によってインターネットによるオンラインの種々のイベントが一般的になったのは不幸中の幸いと言えます。これまで遠くに感じた海外の距離がぐっと近づきました。また、海外に限らず、国内でもグローバルに関する有益なオンラインイベントは多々開催されています。グローバルエデュケーションセンターではこのようなイベントを「学生Portal」で案内しています。学生Portalの各種案内を頻繁にチェックし、積極的に参加しましょう。



学び・遊び・成長

アクティブラーニングセンター長 面田 康裕（おもだ やすひろ）

学びとは、本来とても楽しくてドキドキワクワクするものです。学びをそのように感じている人は、自ら進んで学び、どんどん成長していきます。そういう意味では、学びは遊びのようなものとも言えるかもしれません。しかし、残念ながら学校での学びをそのように実感していないという人も沢山いるのが現状でしょう。将来のため、あるいは目先の単位のために、辛いけれど我慢して勉強している学生の方々が多いのではないのでしょうか。

アクティブラーニングセンターが目指しているのは、学びが本来持つ、楽しさやドキドキワクワクする感覚を取り戻し、明石高専を「学生が主体的に学び成長していく場」とすることです。そのための手法として、協働的な学び、PBL (Project Based Learning) 型授業、ICTの活用などを推進していきます。特に、本校の特色であるPBL型授業「Co+work」では、学生はグループに分かれ、自らやりたい活動テーマを決め、計画を立て、協働で困難を乗り越え実践していきます。学生の皆さん、思いっきり楽しんでドキドキワクワクしながら懸命に課題に取り組むなかで、なりたい自分を見つけ、大きく成長し、夢を叶えていきましょう。

新年度を迎えて

明石高専のDX(デジタルトランスフォーメーション)

学事調査室長 梶村 好宏 (かじむら よしひろ)

今年度から新しく「学事調査室」が発足しました。学事調査室では、急速に変化する社会情勢を踏まえ、明石高専が進めていく学校計画、行動機軸を立案し、学校教育の質を保証するための取り組みを進める部署となっています。令和4年度の取り組みの1つとして、文部科学省が進める「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」において、本校が提案した「建設DXをけん引する次世代型エンジニア育成事業」が採択され、明石高専の実験・実習のデジタル化、高度化を進めていくこととなりました。令和5年度からのカリキュラムの改訂に向けて、令和4年度は、都市システム工学科の実験実習の高度化（GPSを搭載した建設機械の自動制御やドローンを用いた災害現場での地形測量、老朽化した橋梁などの損傷点検など、デジタルを活用した革新的な新しい技術の導入）が行われ、これを電気情報工学科の実験実習の高度化と合わせて支援し、取り組みます。令和5年度には、この取り組みで整備した基盤技術を機械工学科、建築学科の実験・実習にも導入できるよう進めていく計画となっています。学生の皆さんが、社会に出た時に必要となる高度なデジタル技術を専門分野と掛け合わせて活用する技術を習得してもらうため、終わることのないカリキュラムのアップデートが行われています。

いじめについて

学生支援オフィス長 濱田 幸弘 (はまだ ゆきひろ) 学生相談室長 松塚 直樹 (まつづか なおき)

みなさんはいじめについて考えたことがありますか。

一般的に次のようなとき、いじめがあったとされます。

- (1) 冷やかし、からかい、悪口、脅し、嫌なことを言われる。
- (2) 仲間はずれや無視をされる。
- (3) 意図的にぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- (4) 金品をたかられる。
- (5) 所有物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- (6) 嫌なこと、恥ずかしいこと、危ないことをされたり、させられたりする。
- (7) (6)の様子を撮影される、他者に送信される。
- (8) SNSで誹謗中傷、嫌なこと、無視をされる。

上のようなことをしないようにするにはどうすればよいでしょうか。

「相手の人を不快にさせない」ことではないかと思います。「相手の人を不快にさせない」ことはエチケットの基本と言われていますが、対人関係を良好に保つときにも使えます。

また、いじめは些細なおふざけで始めても度合いがエスカレートする傾向にあることも覚えておいてください。

さて、みなさんはいじめに気付いたときどうしますか。

気付かないふりや、傍観したりするかもしれませんね。しかし、そのようなときは教員や職員に知らせてください。耳にしたことについて教職員のチームで慎重に聞き取りをして公平に判断していきます。

万一、みなさんがいじめにあったときは、ただちに教員や職員に教えてください。スクールカウンセラーを含む教職員のチームで慎重に聞き取りをして対応します。

新任教員の挨拶

初めまして

人文科学系 金澤 直志（かなざわ なおし）

今年度、機械工学科2年生の担任、科目では英語IIA、英語III、英語Vを、クラブはテニス部を担当しております。

80年代後半から90年代前半にかけてアメリカに住んでいました。サンフランシスコ、フィンドレー（オハイオ州の田舎町）、ボストンと西から東に移動してきました。初めて教職についてのもアメリカの大学で、日本語を教えていました。その後、奈良高専（24年間）を経て明石高専に参りました。

明石高専は、海に近いせいでしょうか（まだ、学校の近くの海に行ったことがありませんが）、風通しが良く、おおらかで、爽やかなイメージを感じております。学生も勉強熱心で、噂では伺っていた「教育の明石」を感じております。こちらでも学生の人生の選択肢を少しでも広げられるようお手伝いできたらと願っております。よろしくお願いいたします。

着任のご挨拶

電気情報工学科 榎本 隆二（えのもと りゅうじ）

この4月、嘱託教授として電気情報工学科に着任しました。自己紹介します。修士課程修了後、民間企業で5年と数ヶ月、エンジニアとして楽しく働いておりましたが、新学科の立ち上げを手伝えと、母校の沼津高専に割愛されました。エンジニアは子供の頃からの夢、一方、アカデミックポストは想定外でした。途中、博士後期課程の学生に戻った時期があって人生の変転が始まりましたが、結局、いくつかの高専を合せて30年ほど勤め、この3月、高知高専を定年退職しました。研究テーマは、計算モースホモロジー（大域非線形構造解析）という超マイナーな分野です。このたび、縁あって、明石高専の学生さんと過ごす機会を得ました。どうぞよろしくお願いいたします。

着任のご挨拶

櫻井 康博（さくらい やすひろ）

本年4月1日付けで着任しました櫻井康博です。担当教科は化学と物理です。よろしくお願いいたします。

これまで大学では基礎研究を、企業では化学を基盤とした応用研究、装置開発に従事してきました。専門は化学の中でも、磁気共鳴を使用したラジカル種の反応機構解明です。ラジカルとは聞き慣れないと思いますが生活環境のあらゆるところに存在する高反応性物質の総称です。そのため、食品から半導体などの先端素材まで、固・液・気体を問わず研究対象として取り扱いました。様々な分野の方と仕事してきて重要と感じたことは、興味を持った事への集中力です。勉強においても、遊びにおいても今、高専生の間に出来ることに思いっきり集中しましょう。

着任のご挨拶

大城 雄希（おおしろ ゆうき）

はじめまして、令和4年4月1日付で明石高専に着任しました大城です。授業は「測量実習・演習」、「構造力学」を主に担当しています。

昨年度までは大学院で学生として構造力学や耐震工学を学んでいました。新任の私にとって、この明石高専は教員生活のスタート地点であり、右も左も分からない状態です。しかし、1年目だからと妥協せずに、学生が楽しく学び、理解を深めることができる授業を実施することを目標に日々励んでまいります。



着任のご挨拶

Aguilar Mark Kevin Razon（アギラー マーク ケビン ラゾン）

みなさん、はじめまして。My name is Kevin from the Global Education Center, and I am thrilled to be one of your new instructors this school year at NITAC! The Japanese people are recognized to be exceptional in various aspects of life. I believe that if more Japanese individual can share their expertise with the rest of the globe, the world would be a better place. This vision motivates me to use my teaching skills in facilitating and encouraging NITAC students to learn and grow by uncovering the essence of general mathematics subjects delivered in both English and Japanese instructions. I am very grateful to Dr. Isao Takata for being so generous in sharing his classes with me as we work together in achieving the same objective. Thank you for taking the time to read this letter. I am honored to be working with you. If there is anything I can help you with, please email me at m.aguilar@akashi.ac.jp or visit my office at R2-013 General Studies Building. I hope to meet as many of you as possible. どうぞよろしくお願いいたします。

退職教員・異動教員より

いにしえ おのれ ため

古の学者は己の為にし、今の学者は人の為にす(?)

黒田 秀教 (くろだ ひでのり)

表題は孔子の言葉です。「勉強とは自分の実力を高めるためにするもので、人に評価してもらうためにするものではない。」しかし、最後に(?)をつけたのは、こうした自己満足的勉強で幸せをつかめるのか、と私は常々疑問に思っているからです。

日本で日本人に対して行う国語教育は、文学的素養を身につける、情緒を養うといったことが(いまだに)重視されています。しかし、社会の中で生きる私たちは、周囲の人に自分を知ってもらえなければ豊かな人間関係は築けませんし、妥当な評価をしてもらえなければ満足できる収入を手に入れられません。そして、他者と交流するためのツールが言語です。そうであれば、国語の勉強は「人の為にする」ものでなくてはならないはずです。

国語の勉強は理系の皆さんにとって退屈極まりない時間でしょうが、言葉によって自分の思いを伝えられるよう、そして適切な評価をしてもらえよう、国語力——表現力——の研鑽に励み続けていってください。その先に、幸せ(≡お金)が待っています。

最高の環境で最上の学生生活を

岩野 優樹 (いわの ゆうき)

2022年3月末にて明石高専を退職致しました。明石高専では16年間お世話になりましたが、学生にとって本当に素晴らしい環境だと感じました。全国各地から優秀な学生が集まり、授業にもアクティブラーニングや英語が多く取り入れられ、海外からも長短期で留学生が来るため実践の場もある。さらには高専ロボコンを始め各種課外活動の機会も多くあり、それらに積極的に参加すれば日々学んだ工学的な知識や技術の向上も期待できる。ここまでの環境は、全国の高専の中でもトップクラスであることは確かなので、学生達はその環境を大いに活用し、ぜひ実りある高専生活を満喫して下さいね。その際にはそれらの活動の多くを支えてくれている教職員の方々への感謝の気持ちもお忘れなく。また、教職員の皆様も在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。明石高専に携わる皆様のご健康とご活躍を祈念しております。

光り輝け！

石丸 和宏 (いしまる かずひろ)

明石高専にて25年間お世話になりました。私は大学院修了後、そのまま大学に勤め、その後明石高専に着任しました。当初は、初めての一人暮らし、部活の顧問、授業そして研究と慌ただしく無我夢中で日々を過ごしていたように思います。しかし、そんな中でも教職員の方々には私生活を含め大変お世話になり、また優秀な学生との交流のおかげで、段々と自分のペースを取り戻し、これまで続けることができました。授業では力学を教えていましたが、その他の事は周りの方々から多くの事を教わりました。心より感謝しております。

現在、産官学の研究会の副会長や地域ボランティアなどをしてありますが、技術の第一線で活躍されている卒業生と会う機会が多く、明石高専生の優秀さを改めて実感しています。学生は磨けば光り輝く原石です。学生時代である今、自らの意思で自分を磨き上げ、将来光り輝いてください。そして、機会があればゴルフに誘ってください。25年間、本当に有難うございました。

明石高専生に期待すること

小野 慎司 (おの しんじ)

現在私は、仙台高専広瀬キャンパスに勤務しています。ここは学校の横に有名な広瀬川が流れており、近くに熊も出没するような自然豊かな所です。仙台駅から少し離れており、このような環境で働くのは気持ちがいいものです。

ところで、明石高専は学生の性格や学校の雰囲気が仙台高専とは異なっており、明石高専で働いたことは私にとっては財産です。仙台高専でも明石高専のことは有名で、どんな学校でしたかと聞かれます。明石高専の皆さんは他の高専生より少し注目されているかもしれません。高専生としての模範になるような人物になってほしいと思います。

また、高専生は高専生と競い合うことにより成長できる場面が高専大会等、色々あるかと思います。しながら、同世代は他に多数おり、その人たちと積極的に交流する場を持つことを望みます。物理の自由研究でも高校生はすごい研究をしています。自己満足にならずに、成長されることを期待しています。

編入学生紹介

和歌山県から来ました。よろしくお願いします。

建築学科 4年 西島 誠人（にしじま まさと）

みなさんこんにちは。私は、和歌山市の和歌山城の近くにある和歌山工業高校から来ました。今は寮に住んでいます。

私がこの学校のことを知ったのは工業高校に入ってからです。建築科がある高専を探していて、先生が勧めてくれたのが明石高専でした。この当時はこの高専について何も知りませんでした。この学校を調べて行くにつれ、コ・プラス・ワークを始め、ここでしか学べないことが沢山あることを知りました。そのようなことを学べることにとても興味がありました。この学校に編入して以来、夜も寝れないくらいの課題が出たり、習っていない範囲のことが当たり前なので翻弄される時もあります。しかし、アクティブラーニングや建築設計など、高校では体験出来なかったこともあったり、寮ではみんなでワイワイご飯を食べたり、友達も優しく教えてくれて、クラスがみんな仲良くて賑やかでいつも楽しいです。また、これから先にももっと楽しいイベントや活動があるかと思うととてもワクワクします。まだこの学校に来て間も無いですが、私はこの学校を選んで良かったと思っています。これからクラスメートや先生方と過ごせるのは、約2年間と少し短くはありますが、課題や授業、課外活動などを通して大きな絆や学びを育んで行きたいと思います。また、他の進路に進んでいけば体験出来なかったようなことを沢山やってみたいと思います。

これから2年間、どうぞよろしくお願いします。



留学生紹介

自己紹介

機械工学科 1年 SORAWIT NOOIAM（プーム）

皆さんこんにちは、プームです。タイから来ました。今、機械工学科で勉強しています。子供のとき、日本の曲とアイドルが好きなので、日本に行きたいと思いました。私の夢の一つは留学生になること、今回日本に来ることは私の留学の第一歩です。

明石高専で勉強するのは幸せですが、毎日たくさん宿題もあるし、テストもあります。でも質問があったら、先生と先輩と友達に聞けて、うれしいです。私は初めて一人で日本に来て、日本に来た後で心配になりました。ちょっと大変です。でも、フットサルが好きなので、フットサル同好会に入っています。とても楽しいです。そして、先輩と友達皆さんは上手です。日本の生活はめっちゃ楽しいです。これで終わりです。よろしくお願いします。



私について

機械工学科 1年 PLOYPIN KEANPET（プロイ）

みなさんこんにちは。プロイです。タイから来ました。今、機械工学科で勉強しています。バスケットボールが大好きなので、女子バスケットボール部に入っています。今回、私は初めて日本に来ましたのでちょっと心配でしたが、先生と先輩と友達はいつも私に日本の生活を教えてくれるので不安はなくなりました。授業中、先生は日本語で教えます。それで時々内容がわかりませんが友達はとても親切でもう一回説明してくれます。今はより友達とたくさん話したいので日本語を頑張って勉強しています。日本語が上手じゃありませんので時々友達は私と英語で話します。うれしいです。明石高専で勉強するのはとても幸せです。これから5年間よろしくお願いします。



留学生紹介

どうして日本ですか。 電気情報工学科 3年 TSERENDORJ SAIKHANTSETSEG (サイハナー)

皆さん、こんにちは。サイハナーです。モンゴルから来ました。今明石工業高等専門学校で電気情報工学科で3年生として勉強しています。来日してもう1年、明石に来てもう2ヶ月になりました。この間多くの人に「どうして日本ですか」という質問をよく聞かれたけど、そのたび私はそんなに詳しく答えなくてシンプルに一言で答えていました。

一般に、日本に留学したほとんどの留学生たちと同じように技術の発展と良い教育を受けることという目標がありました。加えて、日本に来て空港から出る時から感じたこの安らかな感じと人々の優しさで私はこの国を大好きになってしまいました。そして、この1年間はとてもいい経験になりました。だから、私の日本を選んだ決定は一番ベストの決定だったと思います。

最後に、私は明石に2ヶ月だけ過ごしたけど、もう慣れてきたのは周りにはいる人たちのおかげだと思います。これからもお世話になります。よろしくお願いいたします。



明石高専で私の目標

電気情報工学科 3年 NUR AISYAH ATHIRAH BINTI KHAIROLANUAR SHAH (アイシャ)

みなさんこんにちは。私はマレーシアからの留学生アイシャです。今明石高専で電気情報工学科で勉強しています。この瞬間、私はすでにここで約1ヶ月勉強しています。

特に日本での留学は常に私の夢だったので、この高専に入学する機会を与えられてとてもうれしく思います。これから、ここで勉強しながら達成したい多くの目標を設定しました。ここに入る前に、マレーシアに1ヶ月滞在していたときにオンラインクラスを受講しましたが、科目を詳しく理解するのは難しかったです。今ここにいるので、一生懸命勉強したいと思っています。

まず、他の学生と同じように、私はすべての試験に合格したいです。それ以外は、日本を旅しながらここで勉強する時間を楽しみたいです。また、友達や先生と話すときに、日本語を上達させて理解し、話せるようにしたいと思っています。最後になりましたが、時間内に卒業して夢の大学に進学したいです。

私は本当にこの目標のすべてを達成できることを願っています。大変ですが、それを実現するために最善を尽くします。これからもよろしくお願いします。



自分の決定に責任を持つ

都市システム工学科 3年 KOK FANG ZHE (ダンカン)

マレーシアで1年半日本語を勉強しましたが、言葉で伝えられるものはただ1割で、友達が言っているものほとんど聞き取れません。一人でわざわざ日本に来て、あまり知らない言語で専門科目を勉強するのは馬鹿じゃないかと思ったことがあります。友達や家族が一人もおらず、多くの友達を作りたければ、一人ずつ、名前、性格、習慣など覚えなければなりません。

このようなゲームがリスタートするみたいな感じは人生の中で何回も経験しましたが、今回、文化、礼儀、歴史をあまり知らない国で友達を作るのがやはり難しいです。でも、それは仕方なく、友達がいれば、苦しい時に打ち明けられる相手がいます。友達を作るのは面倒くさいと思ったら、今後一人でしか困難を克服できません。寮生はコロナにかかったら、家に帰りますが、留学生ならば、「家がないよ」ということをしっかり覚えています。

今後の挑戦はまだいっぱい待っていますが、日本に来る決定をしたのは私です。だから、どんなに厳しくても、どんなに苦しくても、必ず克服します。

自己紹介

建築学科 3年 HORT RAKSA (ラクサ)

私、HORT RAKSA (ラクサ) は、日本政府の奨学金を通じてカンボジアから来た留学生で、建築学科の3年生です。

明石工業高等専門学校に来る前に1年間日本語を勉強しました。学期の初めは、日本語が堪能でなかったのが苦労しました。専門科目を始めるのは、通常の日本語を学ぶよりも難しいです。しかし、留学生のための先生の特別な補足レッスンのおかげで、私は今まで知らなかったより多くの基本的な知識を理解することができています。

時々私もホームシックを感じますが、寮での生活は楽しく過ごせています。今、私には明石高専で勉強している日本人の友達や他の国からきた留学生の友達があります。

半学期勉強した後で振り返ると日本の教育制度、特に明石高専が好きです。私が問題を抱えているときに私を助けてくれるすべての先生とクラスメートに感謝します。



後援会より

夏を迎えて

後援会会長 福井 雄一（ふくい ゆういち）

今年度後援会の会長をさせていただきます、福井です。先生方、保護者の皆様、よろしくお願いします。私は息子3人が明石高専にお世話になっており、2009年に長男が入学させていただいてから早くも14年のお付き合いになります。それでご縁が有りまして後援会に入らせてもらって5年目、まさか会長をさせていただきこのような執筆の依頼をいただくとは思っていませんでした。

夏を迎えて、皆さんにはあと何回「夏休み」が残っていますか？社会へ出てしまうと、約2か月もの長い間の休暇なんてとれるわけありません。若い時には暇は有るけどお金が無い。歳を重ね、お金に少し余裕が出てきたら今度は暇が無い。さらに歳をとると体がついていかなくなります。世の中なかなか都合よくはいかないものですが、この学生の特権である「夏休み」には皆さん何か1つ新しいことにチャレンジして欲しいと思います。新しいことにチャレンジすると、緊張したり失敗したりすると思います。ゲームで新しいステージに入ったとき、数学の難しい問題にチャレンジしたとき、初めての環境に飛び込んだときには小さなミスや失敗はつきものです。その小さな失敗の積み重ねがその人その人の経験値になって、人を大きく成長させていくのだと思います。

関西の電力会社で人事として働く友人に、「高専の子は、いろんな経験してるから学力はもちろん、コミュニケーション力とか人間力があって良いね。」と言ってもらったことがあります。今年の夏、来年の夏、再来年の夏と夏が来るたびに皆さんが成長して「やっぱり明石高専は違うね。」といろいろな所で耳に入ってくることを楽しみにしています。貴重な学生生活の中で1日1日を大切に、自分の出来る事を頑張ってください。

後援会では、今年も学生の皆さんへの支援を行います。部活などの課外活動や留学への支援をコロナ以前と同じように行うことは難しいですが、各種資格試験や検定への援助を行う「スキルアップ大作戦」を今年度も継続することで、学生の皆さんを応援したいと思います。資格や検定等は社会に出てからも必要になります。是非、高専にいる間に1つでも多くチャレンジしてみてください。

最後になりましたが、先生方、保護者の皆様、今年度もご支援ご協力をどうぞよろしくお願いします。

学生会より

今年度の学生会活動について

都市システム工学科 3年 伊藤 舞夜（いとう まあや）

みなさん、こんにちは。今年度の学生会長を務めています、3年都市システム工学科の伊藤です。いつも、学生会の活動にご協力いただきありがとうございます。

令和4年度がスタートして早数ヶ月、新型コロナウイルスの収束は未だに見えませんが、昨年度までに引き続き、多くの行事は制限がかかる中での開催となります。部活動などの課外活動は、活動時間が制限され、思うように活動できないことも多々あります。

そんな中、私たち学生会執行部は4月に新メンバー20人を加え、総勢50人を超える学生で活動しています。今年度は、例年の活動に加えて本校の創立60周年を祝う記念イベントや、校内に新しく学生の居場所となる空間を制作する“みんなのキャンパスプロジェクト”を予定しています。学生会役員だけでなく、学生の皆さんも巻き込んだ活動にしていきたいと考えていますので、多くの方に参加していただくと嬉しいです。

最後になりましたが、私たちは学生の皆さんがより楽しく不安の少ない学校生活を送れるよう、サポートしていきたいと思っています。これからも学生会をよろしくお願い致します。

校内短信・行事予定他

●校内短信

日程	行事
4/5(火)	入学式・入寮式
4/6(水)	始業式 専攻科オリエンテーション
4/7(木)	前期授業開始
4/8(金)	新入寮生歓迎会
4/14(木)	健康診断
4/20(水)	学寮防災訓練
4/23(土)	後援会役員会
4/27(水)	TOEIC IPテスト
5/11(水)	寮祭
6/13(月)～6/15(水)	寮生球技大会
6/15(水)	専攻科入試(推薦)
6/18(土)～7/20(水)	保護者懇談会
6/20(月)～7/20(水)	授業の公開
6/25(土)	文化発表会
6月～7月	近畿地区高専体育大会
7/2(土)	オープンキャンパス
7/20(水)	TOEIC IPテスト(5年生全員)
8/1(月)～8/5(金)	前期期末試験・専攻科前期試験
8/6(土)～8/7(日)	オープンキャンパス
8/22(月)～8/24(水)	学力補充期間
8/13(土)～9/30(金)	夏季休業

●第59回近畿地区高等専門学校体育大会

種目	期日	会場
陸上競技	7/3(日)	AGF鈴鹿陸上競技場
バスケットボール	7/17(日)～18(月)	神戸市立中央体育館
バレーボール	6/25(土)～26(日)	桜井市芝運動公園 総合体育館
ソフトテニス	7/2(土)～3(日)	青野運動公園テニスコート
卓球	6/25(土)～26(日)	東和薬品RACTABドーム
柔道	7/16(土)～17(日)	和歌山県立武道館
剣道	7/9(土)～10(日)	グリーンアリーナ神戸 サブアリーナ
硬式野球	5/21(土)～22(日)	大和郡山市総合公園施設 ならっきー球場
サッカー	7/9(土)～11(月)	伊佐津川運動公園多目的 人工芝グラウンド
ラグビーフットボール	11/12(土)	鶴見緑地球技場
ハンドボール	7/2(土)～3(日)	高砂市総合体育館
テニス	7/2(土)～3(日)	東舞鶴公園テニスコート (雨天時)舞鶴高専体育館
バドミントン	7/2(土)～3(日)	スポーツの杜伊勢
水泳	7/2(土)	和歌山高専プール

●行事予定

日程	行事
9/26(月)	専攻科入試(学力)
10/3(月)	後期授業開始
10/15(土)～10/16(日)	全国高専プログラミングコンテスト 於：Gメッセ群馬
10/23(日)	近畿地区高専ロボットコンテスト 於：和歌山県立橋本体育館
10/24(月)～10/28(金)	5年生見学旅行
10/27(木)～10/28(金)	研修日
11/5(土)～11/6(日)	高専祭
11/7(月)	高専祭代休
11/9(水)～11/11(金)	寮生球技大会
11/12(土)～11/13(日)	近畿地区英語プレゼンテーション コンテスト 於：奈良高専(予定)
11/27(日)	全国高専ロボットコンテスト 於：両国国技館
11/29(火)	避難訓練
11/29(火)～11/30(水)	スポーツ大会
12/10(土)～12/11(日)	全国高専デザインコンペティション 於：大牟田文化会館
12/21(水)	寮クリスマス会
12/23(金)	全校清掃日
12/24(土)～1/5(木)	冬季休業
1/6(金)	高専祭代休
1/21(土)	推薦入試
1/28(土)～1/29(日)	全国高専英語プレゼンテーション コンテスト 於：一橋大学一橋講堂
2/9(木)～2/10(金)	専攻科特別研究審査発表会
2/12(日)	学力入試(本試験)
2/13(月)	臨時休業
2/15(水)～2/21(火)	後期期末試験・専攻科後期試験
2/22(水)	終業式
2/26(日)	学力入試(追試験)
3/22(水)	卒業式・修了式

●部活動指導教員

局	部・同好会	クラブ名	指導教員名
文化局	部	吹奏楽部	○ 高田 大向 平野
		音楽部	○ 角野 藤原
		茶道部	○ 東野 北川
		合唱団 Fons Musicae	○ 黒杭 土田
		ロボット工学研究部	○ 森下 関森 野村
		情報工学研究部	○ 野村 濱田
		視覚メディア研究部	○ 小笠原
		Web製作研究部	○ 土田 梶村
		宇宙工学研究部	○ 梶村
		エコランプロジェクト	○ 田中 大森
	同好会	棋道同好会	○ 神田 本塚
		ものづくり研究会	○ 武田
		E S S	○ ハーバート 穂本
		数学研究会	○ 高田
		D-PRO135°	○ 本塚 大塚 松宮
		写真同好会	○ 鍋島 生田
	体育局	水泳部	○ 松塚 面田 濱田
		剣道部	○ 中川 松宮
		柔道部	○ 小林 平野 細川
		空手道部	○ 東野 久保田
		野球部	○ 後藤 荒川 境田 藤原
		陸上競技部	○ 梶村 石松 大向 上 田中
		男子バレーボール部	○ 江口 井上 角野 黒杭 森下
		女子バレーボール部	○ 三好 (一)
		ハンドボール部	○ 荘所 穂本 神田 水島
		男子バスケットボール部	○ 関森 生田 大城 北川
		女子バスケットボール部	○ 中西 土田 ハーバート
		卓球部	○ 本塚 小笠原 史 周山
		クライミング部	○ 工藤 平石
		テニス部	○ 武内 金澤 長尾
		バドミントン部	○ 高田 武田 野村 廣田
		サッカー部	○ 加藤 大塚 國峰 鍋島
		ソフトテニス部	○ 井上 (英) 大森 櫻井 善塔 渡部
体育局	同好会	フットサル同好会	○ 工藤